

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルアルスポット相場は、強い5月米小売売上高を受けてドル買い優勢で取引が始まった。FRBは利上げ開始のタイミングを見極める上で「データ次第」とのスタンスを示しているが、5月雇用統計に続き小売売上高が良好な内容を記録(前月比1.2%増)したことは、マーケットの年内利上げ観測を一層加速させる要因となり得る。アル相場は一時3.17台前半までドル高アル安が進行した。しかし、その後公表されたCOPOM議事録により相場は一転。引けにかけてドル安アル高に転じると、終始その動きが継続し3.08台後半で取引を終えた。先週3日に開催されたCOPOMの議事録では、物価高止まりの長期化を阻止する中銀の強い姿勢が明らかとなった。利上げはインフレ抑制に効果をもたらす反面、景気後退を加速させるリスクがあるが、議事録では景気後退の恐れがあつても政策金利を当面高水準に留める可能性を指摘。物価高の長期化を防止するには、「断固たる決意と忍耐力が必要」との見方を示した。本会合が開催される前のマーケット見通しとしては、来月会合で政策金利を25bp上げるのを最後に利上げは打ち止めとなり、来年の早い段階で利下げに転じるというものであったが、次回会合での50bpの利上げ確率が足許では切り上がりつつある。

議事録は事前の市場予想とは異なり、タカ派(金融引き締めを志向)色が極めて強い内容となった。過度な金融引き締めは政府や議会の抵抗を招く恐れもあるが、中銀はインフレ抑制を最優先に金融政策を推進する姿勢を明確化。マーケットはさらなる金利上昇に備える必要があろう。

マーケットデータ

Indicator	Unit	6月10日	6月11日	前日比	5月11日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	39,34	39,95	+0,61	39,22	+0,73
USD / BRL Spot	BRL	3,1181	3,0900	-0,0281	3,0622	+0,0278
USD / JPY Spot	JPY	122,68	123,42	+0,74	120,08	+3,34
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	53.876	53.689	-187	57.197	-3.508
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)	bps	246,8	243,5	-3,3	231,4	+12,1
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	12,66	12,66	+0,00	12,78	-0,12
DI Future Jul16 (金利先物)	%	14,17	14,22	+0,05	13,79	+0,43
3 Months US Dollar Libor	%	0,288	0,288	+0,000	0,277	+0,011
CRB Index (国際商品指数)	Index	228,2	225,3	-2,9	228,3	-3,0

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルアルスポットチャート



アル円スポットチャート

